

## 【川辺町】 校務DX計画

文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進します。

### 1. 教職員用1人1台タブレット端末の整備

令和2年度に教職員用1人1台タブレットの整備を完了しています。令和8年度から教育委員会事務局職員分を含め整備することで、コラボレーションツール（Microsoft Teams）を活用した連絡体制を整備し、業務の効率化を図ります。

### 2. 校務系・学習系ネットワークの統合

教職員一人ひとりの事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じたうえで、学校・町情報管理担当・関係業者と連携を図り、フルクラウド環境に移行することによりロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境整備を令和6年9月に実施しました。

### 3. 次世代校務システムのクラウド化

現在、校務支援システムは県内自治体と共同で運用され、学校現場では教務、保健、学籍、成績管理など、さまざまな校務に活用されています。今後、教育の情報化を推進し、教育の質を向上させるとともに、教職員の働き方改革や災害時の業務継続性を強化するため、クラウド化を進めます。令和8年度にはシステムの更新が予定しており、現行のオンプレミス型からパブリッククラウドを活用した新たなシステムの導入に向け、県内自治体と連携して検討を進めています。

### 4. FAX・押印の原則廃止

教育委員会と各学校や事業者とのやり取りでFAXを活用するケースは限定的ですが、今後は緊急連絡やネットワークの不具合時など、電子メールよりFAXのほうが効率的な場合を除き、原則として廃止する方針です。押印の見直しについては、特に必要と認められる場合を除き押印を廃止しています。今後も継続的にその必要性を検討し、状況に応じて適切な見直しを行う予定です。

## 5. ペーパーレスの推進

学校内では、電子メールによる教職員間の共有が容易にできるほか、教育委員会から各学校への文書も一部を除いて電子メールまたは校務サーバへの保存で行っています。しかし、各種会議資料等のデジタル化や端末を持ち込んだの会議・研修等については、現状では一部に限られています。今後は端末を持ち込める環境を構築し、さらなるデジタル化を推進します。また、学校から保護者へのお知らせについても電子メールを積極的に活用し、ペーパーレス化を推進していきます。